

オズール クオリティ・レポート

パシフィックサプライ株式会社

2016 年 2 月

いつもオズール製品をご愛用くださいますと誠にありがとうございます。
オズール製品をお客さまに安心して長くお使いいただきたく、オズール クオリティ・レポートを発行いたします。
実際の製品の破損事例をピックアップし、オズール社テクニカルマネージャーからのアドバイスと共に皆さまへお届けします。
皆さまと共に、エンドユーザーさまの 3 ライフ（生命・生活・人生）に寄り添い、製品の品質向上へ努めてまいります。

アイスロスクッションライナーのバルブ・スリーブ懸垂について

アイスロスをはじめとするシリコンライナーは、ロッキングライナー（キャッチピン式）が広く知られています。
今回は、ピンのないアイスロス クッションライナーの懸垂 についてご説明いたします。



【破損例】



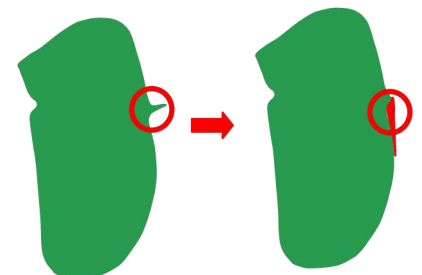
吸着による懸垂

クッションライナーには、ピンやシールなどの懸垂装置が付属していません。
そのため、他の懸垂方法が必要となります。
お勧めは、バルブとスリーブを使つての吸着による懸垂です。

バルブ＆スリーブ（吸着式）では、スリーブの耐久性が鍵となります。
スリーブに発生する破損の主な原因は、ソケットのトリミング部分との摩擦です。
大きなフレアはスリーブの耐久性を著しく低下させてしまいます。

スリーブの損傷を防ぐために

可能であれば、フレアは最小限にしましょう。
どうしても必要な場合は、外面をなだらかに埋めて、スリーブの損傷を防ぎます（右図）。
ストッキングなどでトリミング部分を覆うのも効果的です。



【フレアの形状】



スーパー
HIROSHI

ワンポイントアドバイス！

クッションライナー＋バルブ＆スリーブの懸垂は特にこんな方に向いています。

- ・巧緻性や、断端末の形状などで、ピンの向きを合わせることが難しい方
- ・断端末の骨突起や、神経過敏などでクッション性が必要な方
- ・断端の不整により、アンブレラの形状がうまく合わない方
- ・構造的高さのある足部を使用したい方
- ・長断端で、ロック機構のスペースが確保できない方
- ・訓練用義足や、透析の影響などで、周径変化が予想される方